

Title	東洋史説苑(桑原隲藏著, 弘文堂書店発行)
Sub Title	
Author	山本, 光郎(Yamamoto, Mitsuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.4 (1927. 12) ,p.156(630)- 156(630)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19271200-0156">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19271200-0156</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

近頃の好著述として江湖讀書子に推薦する。(今宮新)

## 東洋史說苑

(桑原 熾藏著)  
弘文堂書店發行

本書は、博士の多年の東洋史研鑽の努力の結果たる論文中より比較的、一般的問題に關するもの二十三篇を撰んで紹介されたものであつて、その全篇の内容は、時事、文化、宗教、風習、氣質、人物、雜纂の七部門に分類されてゐる。その巻頭の辯言にとわられてゐる如く、二三の論文を除いては、凡て何かの機會に公表されたものであるらしい。兎に角、全篇を通じて見るに、何れの論説も、著者が多年の蘊蓄を傾けてなれるもので、輕々に讀破し難きものであるけれども、該博なる知識と、理解力とを以つて、支那の古今にわたつて、その時事を論じ、文化を論じ、宗教を論じ、國民性を論じ、人物を論じ來たり、論じ去る所、日頃拮据難解なる東洋史に倦みたる吾人も、こゝに於ては、幾分氣樂に、東洋史の眞味と興味とを、享有することを感じるのみでなく、自づと多くの理解力を助けられる氣分がする。吾が國に於ても、東洋史を專攻する學者の中には、その學殖に於ても、識見に於ても歐米の學者に優るとも、遜色のない人達も、少くないといふことであるけれども、何れも専門的分析的研究に没頭される爲めに、専門以外の一般的方面には、餘り顧みられる學者が少いのは、初學者の甚だ遺憾とする所である。著者は、この點に留意されて、東洋史專攻學者と社會一般との接觸を計る爲めに、本書に於て、支那研究者の任務、若しくは、對支文化事業に就いてと題する論

文を掲げ、特に、この缺環に對する専門學者の注意を促すと共に、後輩の者をして、激勵されてゐるのは、大いに味ふべきである。とは言へ、東洋史は、その範圍も廣大にして、その開拓も新しいから、先人未踏の地が多く、従つて、史料の考證と、批判とは容易でないだけに、多大の忍耐と、努力を要するはいふまでもなくその苦辛たるや、實に敬服すべきである。けれども、今や、追々この拮据難解なる支那學も、科學的研究方法と相伴つて、多くの史料や、事實が實證されるに至つたので、他日東洋史も、次第に一般化するには容易になるであらうと信ずる。余は本書は、今日一般の要求を、多少なりとも、充たすであらうと信ずる。若しも、讀者が、この全篇のよく實證され、且つ説明されたる問題を綜合し得るならば、可なり東洋史に對する理解力を、高めるであらうと思ふ。(山本光郎)

## 牟婁口碑集

(雜質 貞次郎編)  
郷土研究社發行

紀州の熊野地方は古くから牟婁とも稱せられて、現在では東西兩牟婁郡は和歌山縣内に、南北兩牟婁郡は三重縣内に編入されてゐる。わが國の歴史において古代には神武天皇の大和入りの上陸地として、中世には熊野三山の信仰や熊野海軍などによつて、この地方が重大なる役目を演じたにかゝはらず、現在では最近漸く風景の美をもつて天下に知られつゝあるやうになつたものゝ其他の點においては、交通不便のためか、なほ一般に知られてゐない。『牟婁口碑集』は、この地方、殊に田邊を中心とした西牟婁郡に